

早渕中学校だより

学校教育目標

学び合い 認め合い 高め合う

横浜市立早渕中学校

都筑区早渕二丁目4番1号

電話045-593-8841

令和2年9月30日発行 第5号

「人生は航海なり」

校長 福田昌弘

令和2年度の前期も終わろうとしています。新型コロナウィルス感染症のために6月から学校が再開し、大変短い前期となりました。私自身、教師生活で初めての長い臨時休業や短い夏休みを経験し、本当に翻弄させられる上半期でした。皆さんはどうでしたでしょうか？本来夏休みには良い思い出づくりや、部活動の大会など、あったはずのものが軒並み中止となってしまい、学校生活においても、体育祭や修学旅行、校外学習など中止や延期が重なってしまいました。現在、社会は感染が治まったわけではありませんが少しずつ快方へと向かっています。「WITH コロナ」の言葉通り、感染予防を徹底しつつも、以前の生活を取り戻していくことも大切なことのように思います。

さて、「人生は航海なり」と言われます。中国唐代の詩人李白の「航路難(行路難)」^{こうみなん}という詩の一部を紹介したいと思います。「人生の航路は困難だ。本当に困難だ。分かれ道が多すぎる。私が夢に見る太陽は、今はいったいどちらにおられるのだろうか。大風に乗じて万里の波を乗り越える。そういう時期がいつかは来る。その時こそ雲のように速い帆をかけて、大海原を渡っていこう。」この詩は難しそうですが、これから的人生には困難なことが多いかもしれません、必ず順風満帆になる時が来ることを信じましょうという内容です。まさに今が台風の時なのかもしれませんね。人生の台風は乗り越えたいものです。「人生は航海なり」です。

〈学年より〉

1年

中学校での初めてのテストを受けました。努力の結果が表れましたか？結果をもとに、学習を深めることが大切です。家庭でも勉強する習慣をつけて、学力を高めましょう。

2年

鎌倉校外学習が終わり、部活動でも新しい代での活動が始まっています。3年生として飛躍するためには、今からの準備が必要です。今一度自分の学習や生活を振り返りましょう。

3年

多くの日々を自宅学習に費やした前期でしたが、久しぶりに学校生活が始まった時の前向きに頑張ろうという気持ちを忘れずに、後期、一步一步前進していきましょう。

猛暑の夏を忘れてしまうくらい、ここ数日すっかり秋めいてきました。富士山からは「初雪化粧」の便りが届いています。さて6月に再開した学校は、4か月が過ぎ、長いようで短かった前期が間もなく終了します。連絡表を手にして、この前期を思い返す人も多いことでしょう。学習面や生活面で見直すことがあれば修正し、今後にいかしていきましょう。

【 前期振り返って 】

新型コロナウィルスの影響で自然教室や体育祭などの行事がなくなってしまったが、授業や休み時間を通してクラスメイト同士が仲良くなっていました。学年レクをしてクラスメイトとの絆を深めることができたので、また楽しめるような企画を運営して、よりクラスメイトとの距離を縮めていきたいと思います。（1年学級委員長）

私たち2年生は、学年目標の『継承』に向けて日々、色々なことに取り組んでいます。今はコロナウィルスの関係で、多くの行事や行動が制限されてしまっていますが、そんな中、私たち学級委員は先日学年レクとして「借り人競争」を行いました。「学級委員自身も、距離をとって楽しむこと」、「学年の絆が深まること」が両立するよう考えて話し合い、とても良い話し合いができたと思います。その結果、多くの人が「楽しかった。」と言ってくれたので、大成功でした。普段とは異なる日常が続いているが、コロナに負けず、少しずつ『継承』の達成に向かって頑張ります。

（2年学級委員長）

私は前期学級院長として、前期の活動に対して責任をもって務めることができました。委員会では、各クラスの様子を報告し、どう改善していくと良いかなどを話し合いました。私が委員長として感じたことは、例年と違った環境の中でも、非常に落ち着いて日々を過ごせていると言うことです。学級委員会での活動を通することで、委員の各々がクラスをさらにより良い方向へと導いていける力を養うことができたと思います。充実した前期を過ごすことができたので、後期の学級委員の成果に期待をしたいと思います。

（3年学級委員長）